



神田孝平著
『日本大古石器考』からたどる
本山コレクション
—江戸から現代へ・好古から考古学へ—



2026年
1.13[火]
▶ 2.28[土]



関西大学博物館 特別展示室 (千里山キャンパス簡文館内)

時 間：10:00～16:00（入館は15:30まで）

休館日：日曜日・祝日・入試期間中（1月31日～2月7日）

入館料：無料

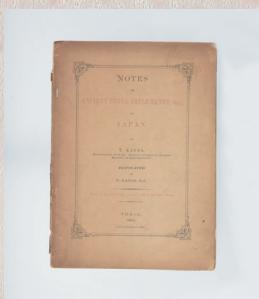


いずれも関西大学博物館蔵

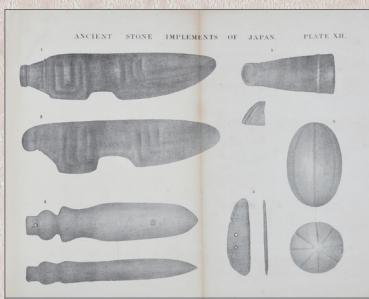
2025年度関西大学博物館研究班成果報告展示会

神田孝平著『日本大古石器考』 からたどる本山コレクション -江戸から現代へ・好古から考古学へ-

本山コレクションは大阪毎日新聞社社長であり、本学評議員も務めた本山彦一が収集した考古資料です。そしてこのコレクションには、明治時代に『日本大古石器考』を刊行した神田孝平が収集した資料も多数含まれています。今回改めて本山コレクションの来歴調査を進めたところ、「北海道の名付け親」として有名な松浦武四郎が蝦夷地探検から持ち帰った資料や、明治初期に開口した仁徳天皇陵古墳の前方部石室の図を描いた柏木貨一郎が収集した資料が見つかりました。柏木の資料には、明治4年に大学南校物産局が九段坂上で開催した、「大学南校物産会」に展示されたものが含まれています。この展示会は「物産会」と名付けられていますが、わが国最初の博物館展示に位置づけることができます。これらの資料を通じて、江戸時代から今日に至る“モノの歴史”を感じていただけたら幸いです。



神田孝平著『日本大古石器考』
(個人蔵)



『日本大古石器考』PLATE X II.
(個人蔵)



神田孝平
(写真提供: タリイピアセンター)



本山彦一
(大阪毎日新聞社編『稿本本山彦一翁伝』1929より)

2025年度関西大学博物館 研究班成果報告展示会

神田孝平著『日本大古石器考』からたどる本山コレクション -江戸から現代へ・好古から考古学へ-

【アクセス】 交通アクセス阪急電鉄梅田（大阪）駅から阪急千里線北千里行き乗車。十三・南方・淡路を経て「関大前」駅下車（約 20 分）。地下鉄堺筋線（阪急電車千里線相互乗り入れ）天下茶屋駅方面から日本橋・北浜・天神橋筋六丁目・淡路を経て「関大前」駅下車（約 30 分）。関大前駅 北改札口から徒歩約 10 分。



関西大学博物館
Kansai University Museum

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928
<https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>

